

# 持続可能なまちの実現に向けて 協働でつなぐゼロカーボンシティへの道

## ゼロカーボンシティを表明

近年、世界的に、地球温暖化が原因とみられる猛暑や豪雨などの異常気象による災害が増加しています。地球温暖化対策は、こうした災害から、人々の生命や財産、社会インフラ、自然、生態系を守るために不可欠です。そして、国や地方自治体、事業者、市民が主体となり、連携して取り組むことが重要です。

市は、2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目標とする「ゼロカーボンシティ」を目標することを表明しました。

第3次大府市環境基本計画では、「脱炭素社会づくり」「循環型社会づくり」「自然共生社会づくり」の三つの基本施策を掲げ、市は、ゼロカーボンシティに向けた取り組みを積極的に推進していきます。



## 神秘の蝶

海を越えて2千キロ以上も旅をする蝶「アサギマダラ」。その神秘とも言える旅路の途中、

彼らは二ツ池公園に咲いているフジバカマの蜜に誘われて、この大府の地へと、羽を休めに飛来します。大府に飛来するようになったのは、ここ数年のこと。

その裏には、アサギマダラを大府に飛来させるために尽力する人たちがいます。一 大府にもアサギマダラを呼んでみようじゃないか。

そこで始動したアサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト。

それぞれの思いを胸に、プロジェクトに関わる人々の物語。

そこには、ゼロカーボンシティを目指す上での大事なヒントが隠れていました。



ようこそ、  
アサギマダラ

一 アサギマダラからつながる地域の輪

環境課 ☎(45)6223

## 実現のカギは 地域協働による連携

安心、安全、快適な生活環境を作るには、安定した「幹骨格」が必要。その幹を育てるためには、主体的に活動する人や地域協働による連携の「根（基盤）」を張り巡らせることが重要です。

第3次大府市環境基本計画では、計画を推進することで、広く根を張り巡らせ、太くて丈夫な幹を育て、「循環型社会」「脱炭素社会」「自然共生社会」といった「枝葉（成果）」を生み、持続可能なまちを実現することを目標としています。

アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクトによる地域のつながりは、この土台となる「主体的に活動する人や地域協働による連携の「根（基盤）」の醸成に大きく寄与しています。



ごみの分別方法を伝え、リサイクルを推進



身近な生き物と触れ合い、生物多様性を理解



エコカーを導入し、CO2の排出量を削減

## ゼロカーボンシティの実現

限りある資源が循環する  
循環型社会づくり

二酸化炭素の排出量を削減する  
脱炭素社会づくり

人と自然が触れ合い、共生する  
自然共生社会づくり

安心・安全・快適な生活環境づくり

地域協働・人づくり

## 人と人とをつなぐアサギマダラ 自然を楽しむきっかけにしてほしい

プロジェクトを始動してから、アサギマダラを身近で見られるようになりました。正直、ここまで来るとは思わなかったです(笑) これも、市と市民が一緒になって、同じ目標に向けて協力し合っているからだだと思います。二ツ池セレトナでは、アサギマダラやフジバカマに絡ませた講座を開いて、市民の皆さんにさまざまな角度から、このプロジェクトを楽しんでもらっています。

アサギマダラは、セレトナで感じられる自然の良いところの一つ。他にもたくさん自然に触れられる名所があります。ぜひセレトナに来て、自然を楽しんでほしいです。

### 二ツ池セレトナ館長 島田勝彦

自然を愛し、自然に愛される男。二ツ池公園を日本一の公園にしたい。その思いでプロジェクトに奮闘中。



左 花壇講座では、参加者の皆さんにフジバカマの世話をしてもらっています。きれいに咲いているのは、皆さんの陰の努力のおかげです  
右 マーキングされたアサギマダラを発見。福島県から飛来したものと判別しました

## フジバカマは昆虫のレストラン さまざまな生き物に出会ってほしい

### セレトナ自然研究者 吉川洋行

みんなの知恵袋で、良きアドバイザー。豊富な知識を惜しみなく伝授。生き物への愛が止まらない。



左右 セレトナで開催している講座「真昼の大人のから騒ぎ」の一幕。吉川さんが講師としてセレトナの自然について話しています。この日、4頭のアサギマダラが飛来。みんなで観察し、話し合いを行いました

フジバカマの成長過程を見守り、剪定や挿木のタイミングをアドバイスしています。フジバカマは背が高くなるので、子どもたちにもアサギマダラの姿を楽しんでもらえるように、二ツ池公園に咲いている株は一度剪定して、高さを調節しています。こうして、皆さんに楽しんでもらえるのはうれしいですし、休憩場所を増やすことはアサギマダラにとってもいいことだと思います。フジバカマは、多くの昆虫のレストランにもなっているのです、いろいろな昆虫との出会いもあります。



## 緑に愛着を持つ人の輪 分けた株を通して仲間が増えてほしい

セレトナを訪れる人を楽しんでもらえるようにと、緑化推進研究会のみんなで平戸池の整備をお手伝いしています。その活動で培った知識をもとに、挿木をして、たくさんの方々がフジバカマを苗まで育て、株分け講座などを通して皆さんへ配っています。市内全体にプロジェクトが広がれば、アサギマダラがいろいろなところで見られるようになりますね。株分けされた先で、さらに広がりを見せているというのが理想です。顔は分からないけれど、知らないところでどんどん仲間が増えていくといいなと思います。

### 緑化推進研究会 鈴置史男さん

株分け職人。日々の緑化推進活動で培ったノウハウを存分に発揮。市内全域へ、株と思いを届ける。



左 平戸池に咲くフジバカマ。緑化推進研究会のメンバーが育てています  
右 苗木の配布や講座などを通して市民の皆さんと一緒に活動しています



# 環境活動のプラットフォーム プロジェクトを広める人たち

## 環境パートナーシップ会議

### 幅広い環境活動を展開

市は、地域に密着した環境づくりに関心のある市民団体、地域コミュニティ、事業者などで組織する「環境パートナーシップ会議」を平成15年度に発足しました。

市内で行われる環境活動の基盤となる組織として、①外来種の駆除、②ダンボールコンポストの普及促進、③フードドライブへの協力など、環境にまつわる幅広いジャンルの活動を行っています。



▶環境パートナーシップ会議の一幕

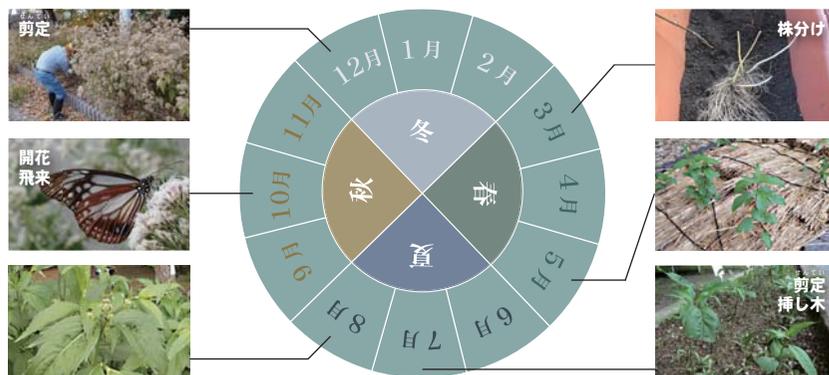
### 飛来を願って プロジェクトを始動

令和元年から、市内にアサギマダラを呼び込むため、「アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト」を開始しました。まず、アサギマダラ飛来の最初の拠点として、二ツ池公園にフジバカマの苗を植え、同年、アサギマダラの飛来を確認しました。

その後も毎年、二ツ池公園にはアサギマダラが飛来し、ヒラヒラと踊るように舞う姿に多くの人が魅了されています。

この活動をけん引している環境パートナーシップ会議メンバーの皆さんにお話を聞くと、そこにはアサギマダラを通して、自然を愛するきっかけにしてほしいという願いがありました。

## アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクトの1年





二ツ池セレクトナから始まったアサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト。その後、アサギマダラの休憩地を広めようと、フジバカマの株を分け、市内全域へ育てる場所を増やしてきました。今では、市内の公共施設、事業所、大学、市民にも広がりを見せています。株分けされたフジバカマは、今どうなっているのでしょうか。それぞれの場所へと受け継がれた株のその先を追いました。

## セレクトナから市内全域へ 思いが詰まった命のリレー



香りの研究に利用  
ストレス解消効果に期待

▲大学に飛来したアサギマダラ



きれいな花が  
咲きました  
わが家への飛来を待ちわびて

▲違う種類のチョウが飛来



地域の人へ  
お裾分け  
つながりをコーディネート

▲つぼみが膨らみ開花まであと少し



薬草としての  
効果を周知  
ワークショップに活用

▲薬草園に咲く色違いのフジバカマ

フジバカマの葉を乾燥させると桜餅のような香りがします。その香りによって、リラックス効果が得られるか、生体データなどを計測して評価しています。肥料の違いによって生育状況が変わり、香りの差が出るのかを調べるため、生ごみでできた肥料やダンボールコンポストで作った肥料などを使って育てています。この研究により、リラックス効果が得られると分かれば、たとえアサギマダラが来なくても、フジバカマの花や葉の香りによるストレスの解消が期待できます。

来年からは学生たちにも育ててもらって、環境問題や自然に興味を持ってもらえたらいいなと思います。

4年前に友人の家でフジバカマが咲いているのを見て、きれいな花だなと思って分けてもらいました。でも芽は出るけれど、花が咲いたことはなかったです。なんで枯れちゃうんだろうと思い、フジバカマのことを学ぼうと講座に参加しました。夏の暑さで乾燥させないことが重要だと学び、水を切らさないように意識して育てたら、見事に花が咲きました。

アサギマダラが来るんじゃないかと胸を焦がしながら待っていましたが、今年は来なかったですね。アサギマダラに気付いてもらえるように今後も続けて、いつかわが家にも来たよと報告したいです。

共和西地区にもアサギマダラを呼ぶために、フジバカマを育ててくれる仲間を増やしています。今年は、障がい者の就労訓練を行う就職トレーニングセンターとNPO法人さわやか愛知に株を分けました。地域の施設なので存在は知っていても、訪れる機会は少ないと思います。アサギマダラの飛来をきっかけに、周囲の人たちが共通の話題でつながってくれることが希望です。今後も市民や公共施設など、興味のある人へと広げていきたいです。来年は、株分けで終わらず、公民館でフジバカマの育て方を学べる機会を設けようと計画中です。この活動を通して、地域の連携や人と人のつながりを強化していきたいです。

セレクトナと薬草園は場所が離れているので、アサギマダラが市内を広々と移動できたらと思い、株を分けてもらいました。フジバカマは薬草なので元々育てていましたが、それほど多くはなかったです。体を温める効果があるので、もらったフジバカマを株分けして、もっと増やし、入浴剤を作るワークショップができればいいなと思います。

薬草園の薬草は無農薬で育てているので、たくさんの昆虫を見ることができます。フジバカマをきっかけに薬草園のことを知ってもらい、他の薬草や昆虫にも興味を持ってもらえたらうれしいです。

至学館大学 健康スポーツ科学科  
准教授 佐藤桂さん

▼環境問題を考えるきっかけとして、学生と一緒に大学周辺のごみ拾いもしています



株分け講座参加 近藤武さん

▼株分け講座の一幕。参加者のみんなでセレクトナに500株を植栽しました



共長公民館館長 古田功治

▼就職トレーニングセンターに分けたフジバカマ。利用者の皆さんでお世話しています



あいち健康の森薬草園 半谷美野子さん

▼薬草園での生き物観察会。たくさんの生き物を観察できます



# 大府から知多半島全域へ 市域を越えてつながる輪

## — 知多半島アサギマダラ ネットワーク情報交換会 —



### 知多半島で広がるつながり

市は令和2年度から、知多半島内でアサギマダラ飛来に向けて活動している自治体や団体に呼び掛けて、「知多半島アサギマダラネットワーク情報交換会」を開催しています。

10月7日に行われた情報交換会には、9市町の自治体職員とボランティアの方が参加しました。それぞれの取り組みを尊重しながら、相互に活動報告するなど、「知多半島をアサギマダラの飛来地にする」という将来像に向けて情報交換を行いました。



秋と一緒に訪れて、  
私たちに癒やしを与えてくれた  
アサギマダラ。

人と人とのつながりをつくり、  
自然を愛する心を教えてくれました。

フジバカマの蜜をたくさん吸って、  
大府でゆっくり休んだ彼らは、  
これから、どんな旅をするのでしょうか。

ありがとう、またね。

### みんなで一致団結 知多半島をアサギマダラの飛来地にするために



情報交換会終了後、参加者の皆さんで、大府市のフジバカマの成育とアサギマダラの飛来の状況を観察しました。



### アサギマダラがつなげる地域の輪

「アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト」  
そこには、人と人をつなげる力があります。  
二ツ池セレクトナから、公共施設、事業所、大学、市民へと広がり、大府市にアサギマダラを呼ぼうという目標に向かって取り組む、今回の取材を通じて出会った皆さんの姿。プロジェクトは、ゼロカーボンシティの実現のために欠かせない地域協働による連携の「根(基盤)」を育てる可能性を、大いに秘めています。

市は、今後も、フジバカマの維持管理や株分けイベント、環境講座などを通して、プロジェクトを推進し、地域交流や緑化推進、そして地域協働による連携の根を育てていきます。将来的に「知多半島をアサギマダラの飛来地にする」。そのため、連携の根を市内にとどまらず、知多半島アサギマダラネットワーク情報交換会を通して、知多半島全域に強固な連携を築きあげていきます。アサギマダラがつなげた地域の輪。そこそがゼロカーボンシティの実現に向けた大事なヒントでした。

### 情報交換会によって確認されたこと

- 1 育成ノウハウの共有**  
お互いに活動を報告し合い、フジバカマを育てる上で工夫することや気を付けることなどを共有しました。
- 2 顔の見えるネットワークの構築**  
各地域の関係者が、気軽に悩みを相談したり、質問を投げ掛けたりして、参加者同士の関係性を築きました。
- 3 知多半島の広域的な拠点整備の推進**  
常滑市と武豊町、阿久比町では、大府市から分けた株を新たに公園などに植え、アサギマダラの飛来拠点を整備しました。

### 参加者の声

みんなで報告し合い、  
とても楽しい会です



情報交換会では、みんなで集まって、それぞれの活動を紹介しています。私は、知多市にある旭公園でフジバカマの植栽をしていますが、各市町で行われている取り組みを聞いて、いろいろな気がありました。それぞれの地で、こんなにもアサギマダラに関する取り組みが広がっているんだと、聞いていてワクワクします。こうして市外の方ともつながりを持ち、一致団結して連携していけば、もつこのプロジェクトが発展すると思います。

ボランティア  
尾之内富子さん



### アサギマダラを通して 環境問題に関心を持ってほしい

ゼロカーボンシティの実現は、行政だけの力では到底達成できません。ゼロカーボンシティを実現するにあたっての重要なポイントは、第3次大府市環境基本計画の基本理念である、「一人ひとりが自分のこととして環境を意識し、学び、気付き、そして行動する市民を育て」ことであると考えています。アサギマダラによる地域のつながりは、『主体的に活動する人や地域協働による連携の根(基盤)』の醸成に大きく寄与していると考えています。アサギマダラの活動を通して市民の皆さんの環境意識を高め、環境問題に対する関心を広めることで、自ら考え、自ら主体的に行動できる人づくりに寄与できるのではないかと期待しています。

定期的に環境Newsを発信  
環境メルマガに登録しよう

環境に関するイベントや家庭・職場ですぐに取り組める環境に配慮した省エネ行動などの情報をお届けします。

- ▶ 情報発信回数 月1・2回
- ▶ 登録料 無料
- ▶ 登録方法 市ウェブサイトの登録フォームへ。



環境課  
近藤祐生

